

令和5年11月13日14時00分
近畿地方整備局
大阪国道事務所
近畿道路メンテナンスセンター
岬町

橋梁点検の新技术のデモンストレーションを行います
～ 11月20日 岬町の管理する^{ぎおんぼし}祇園橋で開催 ～

- 大阪国道事務所・近畿道路メンテナンスセンターでは、岬町で、岬町長や岬町職員等の参加による、新技术を活用した橋梁点検のデモを実施します。
○今回活用する新技术は、「橋梁等構造物の点検ロボットカメラ」と「360度周囲を認識するドローンを用いた橋梁点検支援技術」の2技術です。

- 開催日時
令和5年11月20日(月) 14:30～16:00 (天候により延期の場合があります。)
- 開催場所
祇園橋^{おおさか ふ せんなんぐんみさきちょうたんの わ ち ない}(大阪府泉南郡岬町 淡輪地内)(別添1)
- 参加者
岬町長及び、岬町、自治体等、近畿地方整備局の職員
- 内容
新技术の概要説明と、岬町が管理する橋梁において点検のデモンストレーションを行い、道路管理者の技術力向上と新技术の活用を推進します。(別添3)
- 取材について
取材を希望される報道関係の方におかれましては、別添3の申込み用紙に記入をさせていただき、電子メール若しくはFAXにて、11月17日(金)12:00までに申込みをお願いいたします。

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、大阪府政記者会、
大阪市政記者クラブ、関空記者クラブ、堺市政記者クラブ、在堺記者クラブ

<問合せ先>

①開催内容に関する問い合わせ先

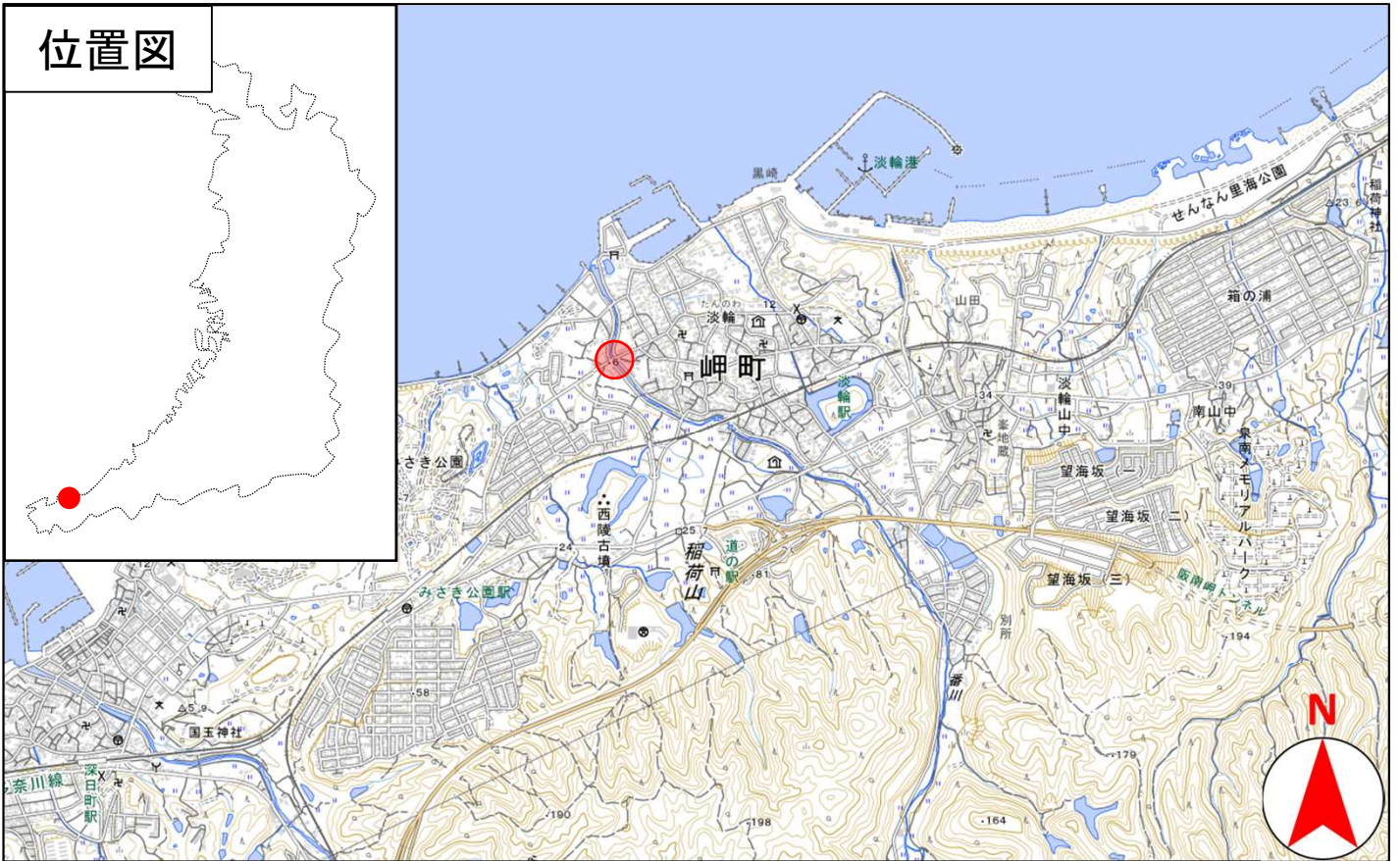
| | | | |
|-------|---------|---------|----------------------|
| 国土交通省 | 近畿地方整備局 | 大阪国道事務所 | TEL(06)1932-1421(代表) |
| | | 総括保全対策官 | 井田 卓 |
| | | 保全対策官 | 徳地 克彦 |
| 岬町 | | 都市整備部 | TEL(072)492-2744 |
| | | 都市整備部長 | 奥 和平 |

②新技术に関する問い合わせ先

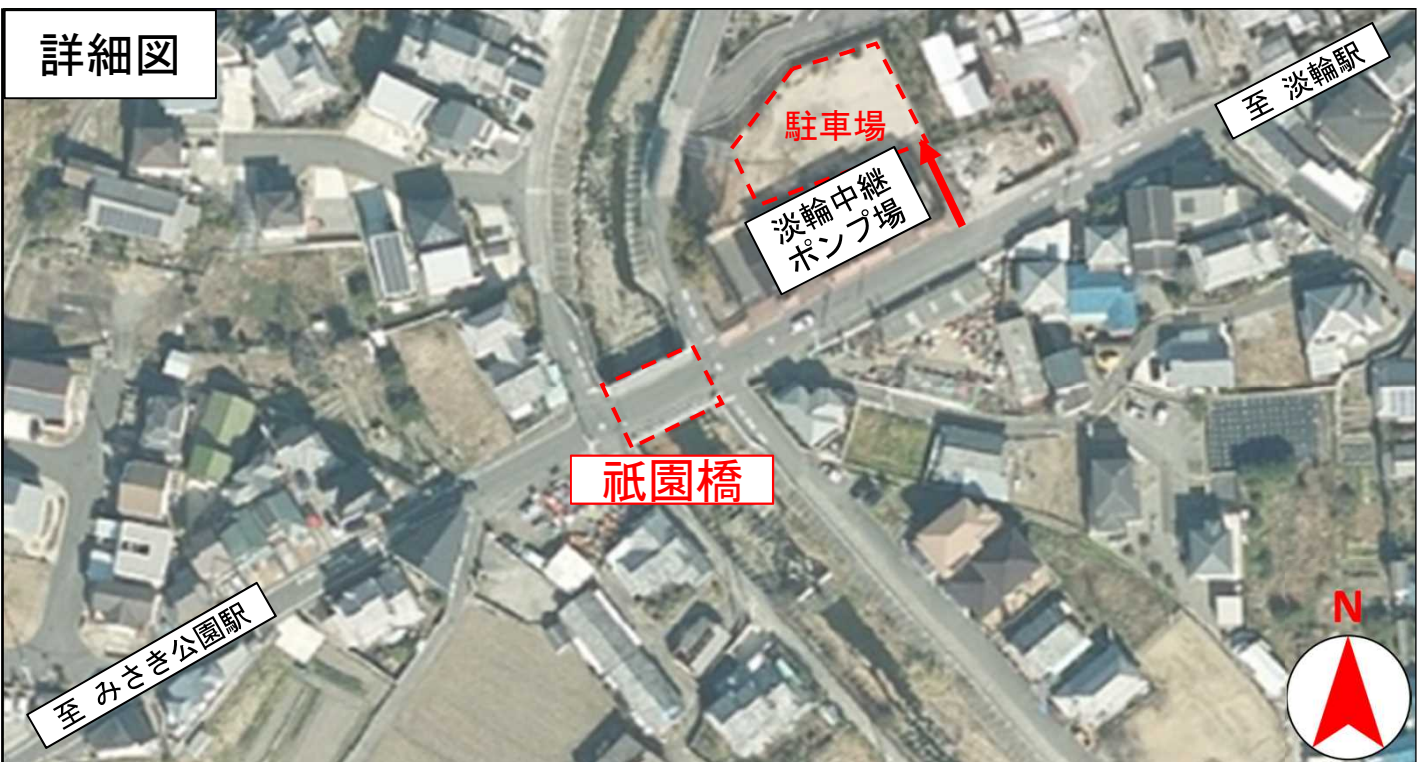
| | | | |
|-------|---------|----------------|----------------------|
| 国土交通省 | 近畿地方整備局 | 近畿道路メンテナンスセンター | TEL(072)800-6222(代表) |
| | | 技術課長 | 藤村 知広 |

開催場所 祇園橋（泉南郡岬町淡輪地内）

位置図



詳細図



※車で来場される際は係員の誘導に従ってお進みください。

■出席者

- 1部: 岬町長、岬町職員、近畿地方整備局職員
- 2部: 大阪府内自治体職員、阪神高速(株)職員、岬町職員、近畿地方整備局職員



■使用する新技術

- ① 橋梁等構造物の点検ロボットカメラ
- ② 360度周囲を認識するドローンを用いた橋梁点検支援技術

■スケジュール

- | | | |
|----|---------|-------------|
| 1部 | 14:30 ~ | 開会 |
| | 14:35 ~ | 集合、点検技術概要説明 |
| | 14:40 ~ | 橋梁点検技術デモ |
| | 15:00 ~ | 閉会、マスコミ取材 |
| 2部 | 15:00 ~ | 開会 |
| | 15:05 ~ | 各技術体験 |
| | 15:30 ~ | 意見交換 |
| | 16:00 ~ | 閉会 |

使用する新技術

| | | |
|-------|--|---|
| 技術名 | 橋梁等構造物の点検ロボットカメラ | 360度周囲を認識するドローンを用いた橋梁点検支援技術 |
| 対象部位 | 上部構造／下部構造／支承部／路上 | 上部構造／下部構造／支承部 |
| 変状の種類 | 腐食／亀裂／ひびわれ／床版ひびわれ／変形・欠損／漏水・滞水 | 腐食／ゆるみ・脱落／破断／ひびわれ／床版ひびわれ／変形・欠損／漏水・滞水／支承部の機能障害／その他 |
| 技術概要 | <p>近接するための足場や脚立、梯子、ロープアクセス等を必要とすることなく、点検員が離れた場所よりカメラで視準して点検することを可能とする技術である。</p> <p>操作端末に表示した点検画像に対し、擬似的なクラックスケール、L型スケールを点検者の操作で表示することができ、損傷の大きさを定量的に点検者が計測可能である。</p>  | <p>本技術は、360度周囲を認識する機構を有し、自動及び手動で損傷の状態を記録することができるドローン技術である。</p> <p>本技術を用いることで非GNSS環境においても飛行することが出来る。</p> <p>自動飛行では構造物の形状を認識し、構造物に沿った形で一定の離隔を保ち撮影することが可能となる。</p> <p>手動飛行では衝突回避機能を活用し最小120cmの狭小部に進入し撮影することが可能となる。</p>  |

岬町管理橋梁における橋梁点検新技術デモ

取材申込書

【電子メールによる申込】

送信先(メールアドレス): kkr-daikoku-sitai@mlit.go.jp

①件名に「岬町管理橋梁における橋梁点検新技術デモ」と記載してください。

②メール本文に下記事項を記載してください。

- ・貴社名
- ・ご担当者の氏名(ふりがな)
- ・ご連絡先(電話番号、FAX番号、メールアドレス)
- ・ご同行者の氏名(ふりがな)

【FAXによる申込】

下記の送信表に必要事項をご記入のうえ、本紙を送信してください。

FAX番号 06-6939-2040(管理第二課)

大阪国道事務所 管理第二課 宛

| FAX送信表 | |
|--------|--------------------------|
| 貴社名 | |
| ご担当者名 | 氏名(ふりがな) |
| ご連絡先 | 電話番号 FAX番号 メールアドレス |

※ 複数名での取材を希望される場合は、全員分のお名前、ご連絡先をご記入願います。

※ FAX送信後は受信確認のため、下記の[受信連絡先]までご連絡願います。

[受信連絡先]

大阪国道事務所 管理第二課 TEL 06-6932-1452